



生活指導だより

平成30年11月26日

練馬区立早宮小学校

生活指導主幹 菅野 泰弘

11月も下旬となり、ずいぶんと朝晩が冷え込むようになりました。朝、なかなか布団から出られないという子供たちも少なくないのではないのでしょうか。

先日の展覧会には、9日(金)・10日(土)の両日で、大変多くの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただきました。子供たち一人一人の作品から、思いや願い、頑張りを感じていただければうれしく思います。

展覧会の活動を通じた成果の一つに、1・6年生、2・4年生、3・5年生の異学年で取り組んだ共同制作があげられます。日頃、同学年の友達と活動するとき以上に、相手のことを考え、言葉を選び、思いやる姿がたくさん見られました。展覧会の鑑賞活動では、共同制作を一緒に取り組んだ学年の作品の感想を「交流郵便」として交換しました。学校行事での活動を関連付けて、「心のふれあい」が生まれるようにと計画しました。そうした心温まるつながりは、集団生活である学校生活ならではの姿ですし、「展覧会の年」だからこそ取り組めた良さだと感じています。今回の活動を通して広がったコミュニケーションの輪を、日常でも継続していけるよう声を掛けていきます。

11月の避難訓練は「Jアラート」を用いた内容としました

14日(水)には、21日(水)に行われたように全区での伝達試験が取り入れられている「Jアラート」の実際の音源を用いて避難訓練をしました。

Jアラートは、対処に時間的余裕がない大規模な自然災害や弾道ミサイル攻撃などについての情報を、「国から住民まで直接瞬時に」伝達することができるという点が最大の特長です。もちろん発令されないことを願いますが、万が一のときの避難行動を学習しました。

登下校時のあいさつ・歩行について指導しています

スクールガードの皆様や地域・保護者の皆様からご指摘いただいている、登下校時のあいさつや歩行の仕方について、各学級ごとに適宜指導しています。

- あいさつをしても返事がない。自分からあいさつをしようとする。
- 横に広がって歩くなど、歩行の仕方について注意をしても聞き入れない。
- 石を蹴りながら、ふざけ合いながら、大声・奇声あげながら など。

今後も継続して指導していきます。地域・保護者の皆様も、子供たちの言動が望ましいものとなるよう、温かく、ときには厳しくお声掛けいただけますようお願いいたします。

11月 『心のふれあい週間』について



- (1) 5年生が主体となる「あいさつ運動」を行います。【児童同士のふれあい】
- (2) 積極的に教育相談を行います。【保護者と教師のふれあい】

現在、希望制の個人面談を実施中です。面談期間以外でも、ご家庭と連絡を取り合ったり面談を行ったりしながら、子供たちの学校生活や関わり合いの様子について共に考えていきたいと思っております。気になることがあれば、ぜひご連絡ください。